

高圧区分開閉器の誤操作防止について

お客様のキュービクルや電気室で、漏電などの設備故障が発生しますと保護装置(地絡継電器)が異常を検出し、高圧区分開閉器が「切」となり停電します。

停電した原因究明を行わないで、高圧区分開閉器を「入」にする操作をしますと、重大な事故(波及事故等)につながる恐れがあります。

高圧区分開閉器が「切」となり停電した場合は、必ずご連絡ください。



波及事故について！！



「波及事故」は、お客様構内の電気設備事故などが原因で、同じ配電線から供給されているほかの施設(ビル・工場・一般家庭)を停電させることをいい、付近一帯に多大な迷惑をかけ、社会的に非常に大きな影響を与えることとなります。

電気の保安は自分の設備は自分で守る自主保安、自己責任が基本であり、

「他の施設に迷惑を及ぼさない」ために、事故を未然に防止する努力が求められています。

近年パソコンや電子機器の普及に伴い停電に対する社会的影響が高まる中で、波及事故をゼロにすることが求められています。

※波及事故防止対策

- ①電力会社との責任分界点には、地絡継電器付高圧区分開閉器を設置する。
- ②電力会社から電気を引き込む高圧区分開閉器の負荷側の直近に避雷器を設置する。

定期的に電気設備の点検を行っていますが、電気事故防止の為に、お客様におかれましては電気系統で何らかの異常に気付かれた場合は、(有)でんき百十番にご連絡をお願いします。

でんき百十番は「電気の安全」を考えつつ
お客様に「安心を与える」会社です。

